

テクノロジー×アート

～問題提起型のモノづくり～

東京工業大学
リベラル
アーツ
センター
冬の
トーク
イベント

Daito Manabe

真鍋大度

×

ART
X
TECHNOLOGY

伊藤亜紗

Asa Ito

2015.1.15 Thu 17:00~19:00

出演：真鍋大度（アーティスト／プログラマー）
伊藤亜紗（東京工業大学リベラルアーツセンター准教授）

主催：東京工業大学リベラルアーツセンター

場所：東京工業大学大岡山キャンパス
（東急大井町線・目黒線 大岡山駅下車すぐ）
西9号館デジタル多目的ホール

入場無料（開場16:30）

お問い合わせ：art2015@liberal.titech.ac.jp

Tokyo Institute of Technology
Center for Liberal Arts

問題解決こそがエンジニアの仕事!そう自負している人は多いでしょう。もちろんそれは大切です。ですが、モノづくりの役割はそれだけではありません。今までにない感覚や体験を作り出したり、だれも見たことのない生き方や人生のビジョンを提案したり、社会にひそむ本質的な問題に気づかせることもまた、モノづくりの大切な役割です。つまり、オルタナティブな視点や価値を提示する「問題提起型」のモノづくり。それは突拍子もない天才の仕事ではありません。問題提起の視点は、今後はあらゆるモノづくりに求められる必須要素になるでしょう。

問題提起型のモノづくりのヒントを教えてくれるのが、アートです。数学科出身のアーティスト／プログラマーの真鍋大度さんと、理系からアートに転向したリベラルアーツセンターの伊藤亜紗先生が、熱く、クールに語り合います。真鍋さんといえば、可動式の衣装に映像をプロジェクションするPerfumeの舞台演出サポートで有名。当日はトークの合間に何かのデモンストレーションが見られるかも?!



photo by Kazuaki Seki

問題提起型の モノづくり

テクノロジー×アート



真鍋大度 × 伊藤亜紗

真鍋大度 (まなべ・だいど)

1976年生まれ。東京理科大学理学部数学科、国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)DSPコース卒業。ジャンルやフィールドを問わずプログラミングを駆使して様々なプロジェクトに参加。

MIT MediaLab、Fabricaを初め世界各国でワークショップを行うなど教育普及活動にも力を入れる。文化庁メディア芸術祭、コンヌライオンズ、アルスエレクトロニカをはじめ国内外での受賞歴も多数。米Apple社のMac誕生30周年スペシャルサイトにてジョン前田、ハンズ・ジマーを含む11人のキーパーソンの内の一人に選出されるなど国際的な評価も高い。

伊藤亜紗 (いとう・あさ)

1979年生まれ。東京工業大学リベラルアーツセンター准教授。専門は美学、現代アート。東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究美学芸術学専門分野を単位取得のうえ退学。大学2年まで生物学者になるつもりだったが、3年から文系に転向。著書に『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体解剖』(水声社)。研究の傍ら、雑誌編集や作品制作にもたずさわる。

2015.1.15 Thu

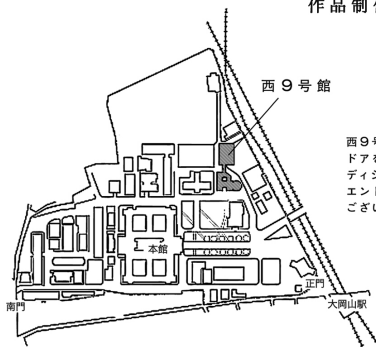
17:00~19:00 (開場 16:30)

東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール
(東急大井町線・目黒線 大岡山駅下車すぐ)

主催: 東京工業大学リベラルアーツセンター

対象: 学生、教職員、一般

入場無料 (予約の必要はございませんが、定員(280名)を超えたと、立ち見や会場に入れない可能性があります。)



西9号館は、芝生斜面側の円形
ドアを入るとそこが2階です。
デジタル多目的ホールは、
エントランスを抜けて右手奥に
ございます。

お問い合わせ:

東京工業大学リベラルアーツセンター

〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1W9-139

電話 03-5734-3782

Mail art2015@liberal.titech.ac.jp